

第6章 人的要因別火災状況

1 高齢者

○ 高齢者が行為者となった火災件数、火災による死者及び負傷者は前年より減少しました。

(1) 火災状況

ここでいう「高齢者の火災」とは、65歳以上の高齢者が行為者となった火災をいいます。

令和2年10月1日現在、全国の65歳以上の高齢者の人口は、推計で前年同月よりも30万6千人多い3,619万1千人で、日本総人口の28.8%を占めています。

また、令和3年1月1日現在、東京都内に住む高齢者は、東京都の総人口の22.7%にあたる313万9千人となっています（総務省・東京都調べ）。

ア 年別火災状況

最近10年間の高齢者の火災の発生状況をみたものが表6-1-1、年別火災状況と高齢者の火災の割合をみたものが図6-1-1です。

表 6-1-1 年別火災状況（最近10年間）

年 別	火 災 種 別										損 害 状 況				
	合 計	建 物					林 野	車 両	船 舶	そ の 他	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)	死 者	負 傷 者
		小 計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や									
23年	494	429	27	24	86	292	1	16	-	48	4,853	1,536	638,523	27	227
24年	497	459	22	33	97	307	-	5	-	33	5,020	1,401	578,786	43	196
25年	511	450	27	20	82	321	2	16	-	43	4,314	1,387	925,063	45	191
26年	570	496	25	24	92	355	1	22	-	51	5,017	1,687	815,659	56	224
27年	508	453	23	24	81	325	-	12	-	43	4,254	1,530	618,056	38	185
28年	482	434	18	22	76	318	-	19	-	29	3,744	1,205	582,696	36	243
29年	568	511	26	25	97	363	-	15	-	42	5,379	1,746	1,064,526	35	208
30年	557	484	17	27	107	333	1	22	1	49	5,623	1,577	1,035,636	44	201
元年	536	479	23	22	96	338	-	19	-	38	4,519	1,516	791,417	50	192
2年	501	448	18	18	87	325	1	21	-	31	3,271	1,469	691,148	29	179

○ 令和2年は501件発生し、前年と比べて35件減少。

○ 火災による死傷者をみると、死者が29人（前年比21人減少）発生し、負傷者は179人（同13人減少）発生。

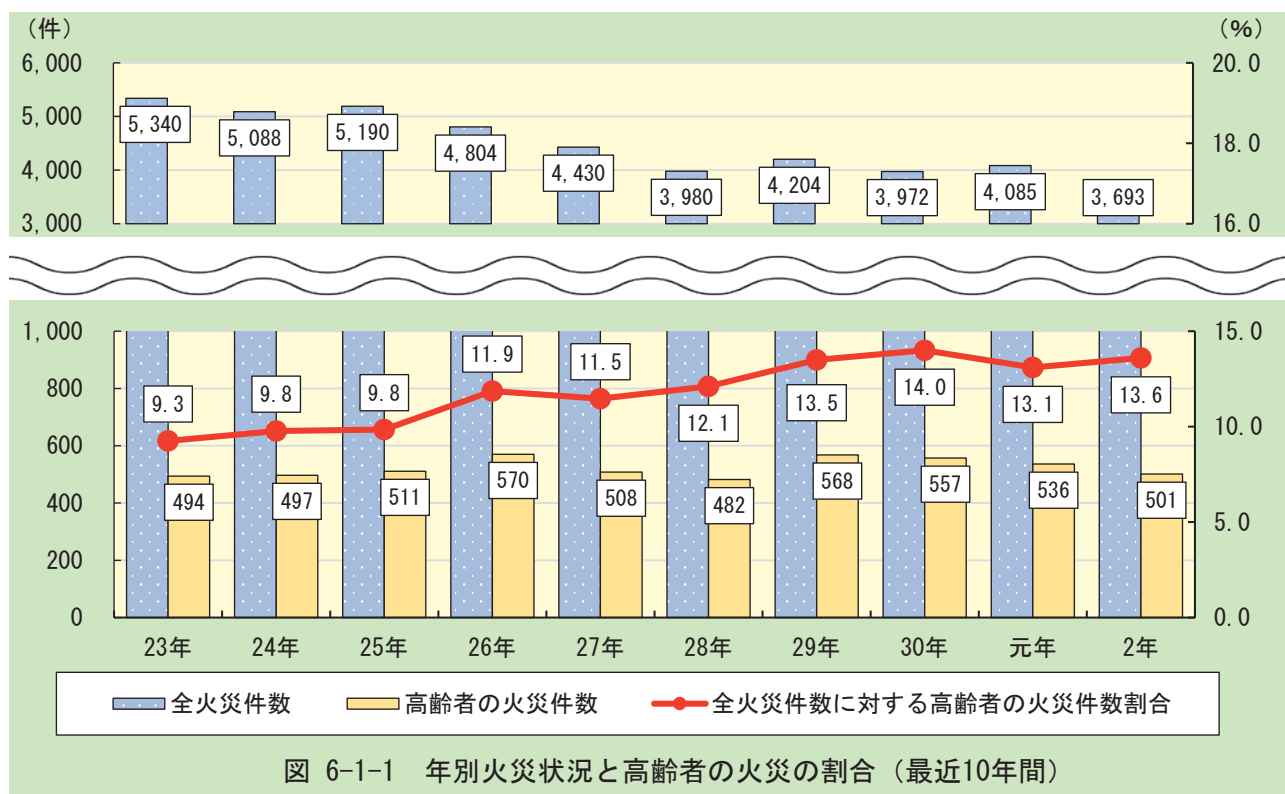


図 6-1-1 年別火災状況と高齢者の火災の割合（最近10年間）

注 火災件数は、治外法権火災及び管外からの延焼火災を除いています。

- 高齢者の火災件数は501件（前年比35件減少）発生し、全火災件数に対する高齢者の火災件数割合は13.6%（同0.5%増加）を占める。

イ 高齢者の火災の月別発生状況

高齢者の火災の月別発生状況をみたものが表 6-1-2 です。

表 6-1-2 高齢者の火災の月別発生状況

年 齢 区 分		月 合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
火 災 件 数		3,693	362	399	331	293	272	254	211	308	247	280	315	421
火 災 件 数 高 齢 者 の	合 計	501	54	45	51	51	39	30	24	36	30	40	37	64
	前 期	236	21	19	31	31	18	14	7	22	10	19	15	29
	後 期	265	33	26	20	20	21	16	17	14	20	21	22	35
発 生 率 (%)		13.6	14.9	11.3	15.4	17.4	14.3	11.8	11.4	11.7	12.1	14.3	11.7	15.2

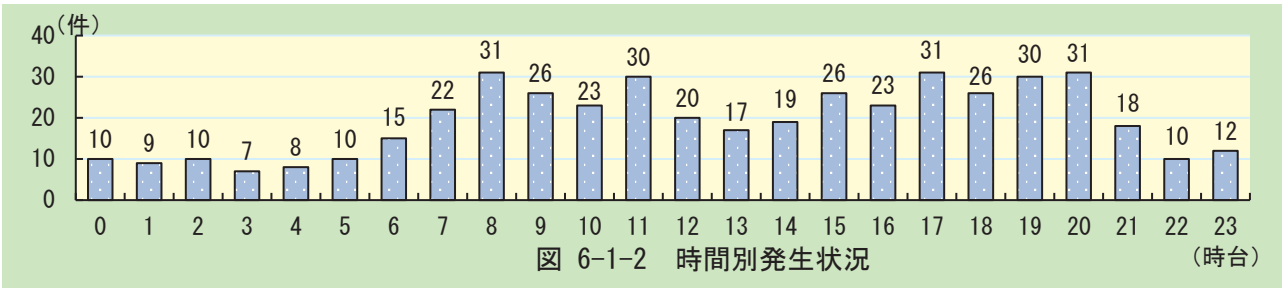
注 1 火災件数は、治外法権火災及び管外からの延焼火災を除いています。

2 発生率は、火災件数のうち高齢者の火災が占める割合を示したものです。

- 火災の多発する時期である1月から3月と、12月で計214件（42.7%）発生し、その中でも12月は64件（12.8%）と最も多い。
- 年齢区分別では、前期高齢者が236件（47.1%）、後期高齢者が265件（52.9%）発生。

ウ 時間別発生状況

時間別発生状況をみたものが図 6-1-2 です。



注 高齢者の火災の時間別発生状況は、出火時分が不明（37件）の火災を除いています。

- 1 日を通じて最も多く発生している時間帯は 8 時台、17 時台及び 20 時台で各 31 件（6.7%）発生。

エ 建物用途別発生状況

行為者とその年齢が判明している建物から出火した火災 1,674 件を居住関係（住宅・共同住宅）と居住関係以外に分けたものが表 6-1-3 です。

表 6-1-3 居住用途別建物火災発生状況

区 分	建物から出火した火災件数	居 住 関 係			居住関係からの発生率（%）	居住関係以外
		小 計	住 宅	共同住宅		
合 計	1,674	1,207	425	782	72.1	467
高齢者以外の火災	1,232	839	245	594	68.1	393
高齢者の火災	442	368	180	188	83.3	74

注 高齢者の建物火災 448 件のうち建物以外から出火し建物に延焼した火災 6 件を除いています。

- 行為者が高齢者で建物から出火した火災 442 件のうち、居住関係の用途は 368 件（83.3%）発生し、高齢者以外の火災と比べて居住関係から発生する割合が高い。

(2) 出火原因別発生状況

高齢者と高齢者以外の主な出火原因別発生状況をみたものが表 6-1-4 です。

表 6-1-4 高齢者と高齢者以外の主な出火原因別発生状況

区 分	合 計	主 な 出 火 原 因										
		ガス ステー ブル等	た ば こ	放 火	大型 ガス こん ろ	電 気 ス ト ー ブ	コ ン セ ン ト	コ ー ド	大型 ガス レン ジ	ロ ウ ソ ク	溶 接 器	そ の 他
合 計	1,955	393	240	121	69	59	34	34	32	31	29	913
高 齢 者 以 外	1,454	265	182	98	54	37	28	23	28	14	22	703
高 齢 者	501	128	58	23	15	22	6	11	4	17	7	210
前 期 高 齢 者	236	56	34	11	8	6	4	4	2	5	4	102
後 期 高 齢 者	265	72	24	12	7	16	2	7	2	12	3	108

注 全火災件数 3,693 件（治外法権火災及び管外からの延焼火災を除く。）のうち、行為者とその年齢が判明している火災 1,955 件の値になります。

- 行為者が高齢者である主な出火原因別の上位 3 位をみると、「ガステーブル等」が 128 件（25.5%）と最も多く、次いで「たばこ」が 58 件（11.6%）、「放火」が 23 件（4.6%）。

(3) 発見・通報・初期消火等の状況

ア 発見・通報・初期消火状況

行為者が高齢者で建物から出火した火災 442 件の火災発見者及び通報者についてみたものが表 6-1-5、初期消火が行われた火災 314 件の初期消火従事状況と初期消火従事時の火災の状態をみたものが表 6-1-6 です。

表 6-1-5 発見者及び通報者の状況

区 分	合 計	住出 戸の 火 居 し 住 者 た	行 為 者	近 隣 者	居同 一 住 建 物 者 の	通 行 人	関上 記 係以 外 者 の	勤同 一 務建 物 員 の	所出 の火 し た 勤 務 事 業 員	外上 記 来以 外 者 の	居同 一 住 敷 地 者 の	そ の 他
発 見 者	442	147	114	50	42	28	14	11	10	7	3	16
通 報 者	442	85	51	94	58	33	32	18	9	10	2	50

表 6-1-6 初期消火従事状況と初期消火従事時の火災の状態

区 分	合 計	物具出 が又火 燃はし 焼着た 中火器	材立 がち 燃上 焼が 中り	物二 が次 燃的 焼着 中火	延出 焼火 拡室 大内 中が	炎火 元 上建 物中 が	状況天 態が井 で達等 延焼し に中火	焼 出 拡 火 大 階 中 が 延	そ の 他 ・ 不 明
合 計	314	211	30	23	10	6	6	3	25
消 火 成 功	241	183	16	19	-	-	3	-	20
消 火 失 敗	73	28	14	4	10	6	3	3	5
成 功 率 (%)	76.8	86.7	53.3	82.6	-	-	50.0	-	80.0

注 行為者が高齢者で建物から出火した火災 442 件のうち、初期消火が行われた 314 件の値になります。

- 発見は、「出火した住戸の居住者」が 147 件（33.3%）と最も多く、次いで行為者である高齢者自身が 114 件（25.8%）など。
- 通報は、「近隣者」が 94 件（21.3%）で最も多く、次いで「出火した住戸の居住者」が 85 件（19.2%）、「同一建物の居住者」が 58 件（13.1%）など。
- 初期消火に成功した 241 件（76.8%）のうち、消火時の火災の状態別でみると「出火した器具又は着火物が燃焼中」で消し止めたものが 183 件で（75.9%）と 7 割以上を占める。

イ 避難状況

行為者が高齢者で建物から出火した火災 442 件のうち、避難行動があったものは 77 件（17.4%）です。このうち、避難に支障があった 7 件の支障理由をみたものが表 6-1-7 です。

表 6-1-7 避難上の支障理由

区 分	出 火 階	死 者	負 傷 者
合 計	7	1	7
老人幼児災害弱者等自力避難困難	2		
廊下が火炎で使用できず	1		
火災に気付くのが遅かった	1		
避難時期が遅かった	1		
その他の	2		

- 避難に支障があった 7 件（9.1%）で、死者が 1 人、負傷者が 7 人発生。

2 工 事

- 溶接関係及び電気作業関係が出火原因となった火災がいずれも前年より減少していますが、放火による出火件数が2件増加しています。
- 火災件数は減少していますが、損害状況は前年より増加しています。

(1) 火災状況

「工事」の火災とは、工事現場、工事中の建物から出火した火災や、工事に関連して発生した火災をいいます。また、工事に関係した火源により、工事現場以外の場所から出火した火災（以下「近隣火災」という。）も含まれます。

ア 年別火災状況

工事関連火災の年別火災状況をみたものが表 6-2-1 です。

表 6-2-1 年別火災状況（最近 10 年間）

年 別	火 災 種 別									損 害 状 況				
	合 計	建 物					車 両	船 舶	そ の 他	焼 損 床 面 積 (m^2)	焼 損 表 面 積 (m^2)	損 害 額 (千円)	死 者	負 傷 者
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や								
23 年	110	61	-	1	23	37	2	-	47	372	1,642	147,688	-	20
24 年	114	66	1	3	18	44	5	1	42	550	406	155,358	-	19
25 年	136	84	3	2	23	56	4	-	48	1,193	622	449,266	1	29
26 年	110	65	8	3	17	37	1	-	44	1,882	801	315,979	-	13
27 年	92	54	-	2	10	42	2	-	36	483	185	136,268	3	30
28 年	82	45	2	2	10	31	3	-	34	1,001	655	819,127	-	15
29 年	98	58	1	1	9	47	1	-	39	359	128	95,818	-	28
30 年	96	55	-	1	11	43	2	-	39	700	5,256	2,467,340	5	81
元年	102	57	-	2	15	40	2	-	43	997	342	2,274,206	3	30
2 年	88	40	2	1	12	25	2	-	46	2,865	482	1,867,839	-	21

- 建物火災の件数は 17 件減少しているが、程度別にみると全焼が 2 件増加。
- 前年と比べて焼損床面積は 1,868 m^2 、焼損表面積は 140 m^2 増加しているが、損害額は減少。
- 死者は 3 人、負傷者は 9 人それぞれ減少。

イ 工事別発生状況

工事現場から出火した火災 88 件の作業区分別の工事種別についてみたものが表 6-2-2、火災と作業との関係がない建物火災の出火原因別の工事種別をみたものが表 6-2-3 です。

表 6-2-2 作業区分別の工事種別

作 業 区 分	工 事 種 別													
	合 計	建 物 工 事					設 備 工 事					土 工 木 事		そ の 他 の 工 事
		小 計	新 築 工 事	解 体 工 事	改 装 工 事	補 修 工 事	小 計	電 気 工 事	管 工 事	機 械 器 具 設 備 工 事	そ の 他 の 設 備 工 事	小 計	そ の 他 の 土 木 工 事	
合 計	88	66	28	22	12	4	17	9	3	2	3	1	1	4
溶 接 ・ 溶 断 作 業	29	26	9	16	-	1	2	-	-	1	1	-	-	1
電 気 作 業	11	4	1	-	3	-	7	7	-	-	-	-	-	-
掘 削 作 業	5	1	-	1	-	-	3	-	2	-	1	-	-	1
配 管 作 業	3	2	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-
塗 装 作 業	3	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
床張り・壁張り作業	2	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アスファルト溶解	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	11	8	4	3	1	-	2	-	-	1	1	-	-	1
火 災 と 作 業 と の 関 係 な し	22	18	12	2	2	2	2	2	-	-	-	1	1	1

表 6-2-3 出火原因別の工事種別

出 火 原 因	工 事 種 別						別
	合 計	建 物 工 事				工 事	
		新 築 工 事	改 装 工 事	解 体 工 事	補 修 工 事		
合 計	18	12	2	2	2		2
放 火	8	6	-	-	-		2
た ば こ	2	1	-	1	-		-
そ の 他	8	5	2	1	-		-

注 「火災と作業との関係なし」の 22 件のうち建物工事から発生した火災 18 件をみたものになります。

- 建物工事の火災で作業区分別にみると、最も多いのが溶接・溶断作業で26件（39.4％）発生し、このうち工事種別をみると解体工事が16件（61.5％）、新築工事が9件（34.6％）。
- 設備工事の火災は17件（19.3％）発生し、このうち電気工事が9件（52.9％）で5割以上を占める。
- 出火原因別の工事種別をみると、18件のうち8件（44.4％）が放火により出火し、そのうち新築工事で6件発生。

(2) 出火原因

主な出火原因と作業区分についてみたものが、表 6-2-4 です。

ア 主な出火原因

表 6-2-4 主な出火原因別と作業区分

出 火 原 因		作 業 区 分									
		合 計	溶接・溶断作業	電気作業	配管作業	壁床張り作業・張り	等のアスファルトの溶解作業	掘削作業	塗装作業	その他	火災と作業との関係なし
合 計		88	29	11	3	2	2	5	3	11	22
溶接関係	小 計	26	25	-	-	-	-	-	-	1	-
	アセチレンガス切断器	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス切断器	9	8	-	-	-	-	-	-	1	-
	電気溶接器	7	7	-	-	-	-	-	-	-	-
電気	小 計	21	-	11	1	1	-	1	1	2	4
	屋内線 *	6	-	5	-	1	-	-	-	-	-
	積算電力計	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	屋外線	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
配線	配線用遮断器	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	分電盤	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	引込線	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	漏電遮断器	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
L E D	L E D	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	充電式電池	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	配電用変圧器	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	配電線（高圧）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
機器	気中開閉器	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	差込みプラグ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	冷暖房機	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	断路器（ジスコン）	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
工事	小 計	12	2	-	2	1	2	2	1	2	-
	電気ドリル	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-
	研磨機（グラインダ含む）	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	ガスハンドトーチ	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-
機器関係	アスファルト溶解炉	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	ボタンガストーチバーナ	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	投入湯沸器	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	エンジンカッター	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
放たその不	電気のコギリ	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	火	8	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	ばこ	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	その他	11	2	-	-	-	-	2	-	5	2
明	明	7	-	-	-	-	-	-	1	1	5

- 溶接・溶断作業が 29 件で最も多いが、前年と比べ 5 件減少。作業に関係しない 22 件を除くと、作業区分の 66 件中の 4 割（43.9%）以上を占める。
- 溶接・溶断作業ではアセチレンガス切断器が 10 件（34.5%）で 3 割以上を占める。

イ 作業区分別発生状況

最近5年間の作業区分別火災状況をみたものが表6-2-5です。

表 6-2-5 作業区分別発生状況（最近5年間）

年 別	合 計	作業区 分											
		溶 断 作 業	溶 接 ・	電 気 作 業	掘 削 作 業	配 管 作 業	塗 装 作 業	壁 張 り 作 業	床 張 り ・	等 の 溶 解 作 業	ア ス フ ァ ル ト	そ の 他	作 業 関 係 な し
28 年	82	26		12	1	2	4	9		2		4	22
29 年	98	52		16	1	2	1	－		2		6	18
30 年	96	32		12	－	1	7	5		－		11	28
元年	102	34		16	2	6	2	4		2		20	16
2 年	88	29		11	5	3	3	2		2		11	22

ウ 溶接・溶断作業

溶接・溶断作業の火災で火花や熔融片が飛散、落下することによって発生した火災20件のうち着火物をみたものが表6-2-6、着火物までの飛散距離をみたものが表6-2-7です。

表 6-2-6 溶接・溶断器の着火物

着 火 物	件 数
合 計	20
野 積 み 木 切 れ ・ 廃 材	5
く ず 類 ご み く ず	4
引 火 物 類 鉱 物 油 ・ そ の 他 の 石 油 類	2
可 燃 性 固 体 断 熱 材 ・ 防 音 材	2
繊 維 類 繊 維 製 品 ・ し ゅ ろ ほう き	2
木 質 物 木 材 ・ 木 製 品	2
引 火 物 類 引 火 性 塗 料 ・ 引 火 性 溶 剤	1
合 成 樹 脂 合 成 樹 脂 成 型 品	1
そ の 他	1

表 6-2-7 着火物までの飛散距離

飛 散 距 離	件 数
合 計	20
50 cm 未 満	3
50 cm 以 上 1 m 未 満	3
1 m 以 上 2 m 未 満	4
2 m 以 上 5 m 未 満	4
5 m 以 上	6

エ 作業関係以外の出火原因

放火の出火箇所と着火物をみたものが表6-2-8です。

表 6-2-8 放火の出火箇所と着火物の状況

出 火 箇 所		着 火 物					
		合 計	合 成 樹 脂	繊 維 製 品	ダ ン ボ ー ル	木 切 れ	不 明
合 計		8	2	2	1	1	2
建 物	工 事 中 の 建 物	3	-	-	1	-	2
建 物 以 外	敷 地 内 等	5	2	2	-	1	-

○ 放火の時間帯は、出火時間不明3件を除く3件が工事現場が無人となる時間帯で発生し、日中に発生した2件は、同一の工事現場から出火している。

3 着衣着火

○ 建物火災のうちの63件（98.4％）がぼや火災。令和2年は4人の死者が発生し、死者の発生率は、前年と比べると0.9ポイント増加しました。

(1) 火災状況

着衣着火火災とは、何らかの火源により人の意志に反して、身につけている衣類に着火した火災をいいます。例えば、調理中のガステーブルの火や灯明*の火が衣服の袖口に着火するなどの火災が該当します。

着衣着火火災の年別火災状況をみたものが表 6-3-1 です。

表 6-3-1 年別火災状況（最近 10 年間）

年 別	火災の種類別									損害状況					死者発生率 (%)
	合計	建物					車 両	船 舶	そ の 他	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	損 害 額 (千円)	死 者	負 傷 者	
		小 計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や									
23 年	81	67	1	－	－	66	1	－	13	85	－	7,439	6	83	7.4
24 年	85	76	1	1	2	72	－	－	9	117	132	11,213	4	81	4.7
25 年	71	62	－	1	3	58	－	1	8	63	11	8,286	8	65	11.3
26 年	79	69	－	－	3	66	－	－	10	39	13	4,630	8	72	10.1
27 年	66	60	1	－	3	56	－	－	6	147	3	5,542	7	64	10.6
28 年	65	59	－	－	1	58	1	－	5	－	1	575	7	66	10.8
29 年	56	52	1	1	2	48	－	－	4	83	57	13,011	4	54	7.1
30 年	52	47	－	1	2	44	－	－	5	38	7	40,660	4	47	7.7
元年	68	65	－	－	1	64	－	－	3	10	40	640	3	62	4.4
2 年	76	64	－	－	1	63	－	－	12	－	2	513	4	71	5.3

(2) 出火原因

主な出火原因と死傷時の状態別をみたものが表 6-3-2 です。

表 6-3-2 主な出火原因と死傷時の状態別状況

区分	合 計	主な出火原因									死傷時の状態						
		ガステーブル等	ロウソク	大型ガスこんろ	電気ストーブ	花火	溶接器	ライター	ごみ焼却炉	その他	家事従事中	初期消火中	作業中	飲食中	休憩中	火遊び中	その他・不明
火災件数	76	41	5	4	3	2	2	1	1	17							
死者（人）	4	3	-	1	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-		-	-
負傷者（人）	71	38	5	3	1	2	2	1	1	18	37	1	21	2	2	1	7

(3) 火災による死傷者

着衣着火火災の死傷者 75 人を受傷程度別でみたものが表 6-3-3 です。

表 6-3-3 程度別受傷状況

区 分	合 計	死 亡	重 篤	重 症	中 等 症	軽 症
合 計	75	4	1	10	23	37
高 齢 者 以 外	43	1	-	6	16	20
高 齢 者	32	3	1	4	7	17
高齢者の占める割合 (%)	42.7	75.0	100.0	40.0	30.4	45.9

- 主な出火原因別の上位 2 位をみると、ガステーブル等が 41 件（53.9%）と最も多く、次いでロウソクが 5 件（6.6%）。
- 死傷者をみると、高齢者の死者が 3 人（75.0%）、負傷者が 29 人（40.8%）発生。

○ 防災処理のある防災物品等の建物火災 7 件のうち全てがぼや火災となっています。

防災物品等が初期の燃焼と関係し焼損した火災の年別火災状況をみたものが表 6-4-1 です。

年 別	合 計	防 炎 処 理					あ り				防 炎 処 理					な し			
		火 災 件 数					損 害 状 況				火 災 件 数					損 害 状 況			
		建 物					焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	死 者	負 傷 者	建 物					焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	死 者	負 傷 者
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や					小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や				
23 年	5	4	-	-	4	3	-	9	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
24 年	12	9	-	-	-	9	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-
25 年	10	7	-	-	1	6	-	8	-	-	3	-	1	-	2	171	3	-	1
26 年	13	10	-	1	-	9	656	369	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-
27 年	3	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28 年	9	7	-	-	-	7	-	-	-	4	2	-	-	1	1	-	5	-	-
29 年	12	8	-	-	2	6	18	18	1	1	4	-	-	1	3	10	5	1	-
30 年	10	6	-	-	-	6	-	-	1	1	4	-	-	2	2	47	66	-	-
元年	14	11	-	-	2	9	10	30	-	1	3	-	-	-	3	-	-	-	4
2 年	8	7	-	-	-	7	-	-	-	2	1	-	-	1	-	10	10	-	-

(2) 出火原因

最近5年間の焼損程度別と防災物品等別の合計についてみたものが表6-4-2です。

表 6-4-2 火災程度別と防災物品等別の状況（最近5年間）

程 度	合 計	カ じ ー ゆ ぺ う た ん ・ ッ ト	カ ー テ ン	工 事 用 シ ー ト	カ ー ペ ッ ト 除 く ・ 敷 物 た ん ・ 類	幕	ど ん 帳	そ の 他
合 計	40	18	10	2	2	1	1	6
部 分 焼	4	-	2	-	-	-	-	2
ぼ や	36	18	8	2	2	1	1	4

(3) 用途別

最近5年間の建物用途別と防災物品等についてみたものが表6-4-3です。

表 6-4-3 建物用途別と防災物品等別状況

用 途	合 計	カ じ ー ゆ ぺ う た ん ・ ッ ト	カ ー テ ン	工 事 用 シ ー ト	カ ー ペ ッ ト 除 く ・ 敷 物 た ん ・ 類	幕	ど ん 帳	そ の 他
合 計	40	18	10	2	2	1	1	6
5 項 イ（ホテル等）	13	6	3	-	1	-	-	3
15 項（事務所等）	8	6	2	-	-	-	-	-
3 項 ロ（飲食店）	4	2	-	-	-	-	-	2
6 項 イ（病院等）	3	1	2	-	-	-	-	-
5 項 ロ（共同住宅）	2	1	1	-	-	-	-	-
1 項 イ（観覧場）	1	1	-	-	-	-	-	-
4 項（物販等）	1	-	1	-	-	-	-	-
6 項 ハ（更生施設）	1	-	-	-	1	-	-	-
7 項（高等学校）	1	-	-	-	-	-	1	-
12 項 ロ（テレビスタジオ）	1	-	-	-	-	1	-	-
共 用 部 室 （ 機 械 室 ）	3	1	-	1	-	-	-	1
工 事 中 建 物	1	-	-	1	-	-	-	-
複 合 住 宅 用 途 の 分 部	1	-	1	-	-	-	-	-

- 防災物品等別でみると、じゅうたん・カーペットが18件(45.0%)で最も多く、次いでカーテンが10件(25.0%)。
- 最近5年間の建物用途別をみると、5項イ(ホテル等)で13件(32.5%)、次いで15項(事務所等)が8件(20.0%)。